



- 佐那河内村立図書館（農振センター3階）
- 開館時間 / 平日 9:00 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00
- 閉館日 / 土・日・祝日・年末年始
- お問い合わせ 教育委員会 図書館担当

「中洋子さん」と「ふみの会」による『よみきかせ講座』を開催しました

10月10日(日)村立図書館で、よみきかせ講座を開催しました。5組14人の未就学児・小学生・保護者のみなさんにご参加いただきました。

前半は「とくしまお話を語る会」代表・徳島県読書振興協議会会長の中 洋子さんに、子どもたちに読みきかせをしていただきながら、保護者へ向けても絵本の選び方や読みきかせのポイントなどをお話していただきました。



講師の中洋子さんのお話

絵本を読むことで言葉が豊かになったり、想像力を育てたり、物語を体験したり…。読みきかせは保護者とお子さんとの大切なコミュニケーションであり、その時間はお子さんの心を育てるので、無理せず一緒に楽しんで読みきかせをしてください。

後半の読みきかせの時間には、本村で活動されている「ふみの会」のみなさんに、大型絵本の読みきかせをしていただきました。

ご参加いただいたみなさん、ありがとうございました。



▲ふみの会による「ほんたのじどうばんぱいき」の読みきかせ



▲マットの上で読みきかせを楽しむ子ども



読み合い朗読会 「伝えたい村の話」佐那河内村史から

●68回は消防を読み合いました。「火消」という言葉を知っていますか。江戸時代の消防組織です。日本にて初めて火消が登場したのが慶安3年。主に武家や大名を守る組織でした。その後、みなさんご存知の大岡越前守忠相が庶民の為の「いろは四十八組」の町火消を作ったのです。●村の消防は明治初年に高樋の油屋こと笠井政七が木製椀用ポンプを購入したのが始まりでした。次に仁井田の富田屋こと高岡邦太郎が木製の龍吐水を所有して自宅近隣の防火に努めました。長い筒で水を汲みあげて発射、それが龍に似ていたようです。金属製の龍吐水となって所有者が増え、大正2年に本村初めての私設消防団が高樋に設立されました。大正後期には平地・寺谷・高樋の私設がありましたが、昭和3年に村全体の公設組織として佐那河内村消防協会として始動したのです。その組織は尾境／

高樋／寺谷／根郷／龍組／仁組／第一桜花組／東府能／下奥野々／中辺／上奥野々／平地の12に分かれ、次いで嵯峨消防組も結成されて火災や水難や盗難などに活躍したのです。戦中は警防団として動き、戦後は第11分団として災害から地域住民を守る為に尽力されたのです。●現在はポンプ車を持つ機動隊の本団があり、その下に可搬ポンプを持つ7つの分団があり、他に5人の女性分団があります。日頃の練習や夜でも急な災害への出動に、心から敬意を表し感謝したいと思います。ありがとうございます。

ツリーベルズ 鈴木 昇・恵子

第69回読み合い朗読会：12月6日(月) 19:30~20:30
場 所：農振センター 1階
お問い合わせ：鈴木 (090-2156-7935)